

# 追跡レポート

こないだ聴いたことあり  
どうなつただやあり



(平成21年6月) 定例会一般質問

**問** 村出身・所属のオリンピック出場選手の応援体制は。

**答** 出場選手への激励、懸垂幕の掲出、大会当日応援する会場の設営等を行う方針で検討しています。

## その後

白馬村出身者や白馬村スキークラブ所属選手を合わせて6名の選手の出場が決まりました。村、白馬村スキークラブを中心に、大会期間中は、テレビ中継の映像を見ながら応援する特設会場を多目的ホールに設ける他、横断幕や懸垂幕の掲出や小・中・高校生による応援旗の制作等を行います。

**問** 安曇養護学校への通学方法の要望についての対応と経過、今後の支援は。

**答** 県にスクールバス運行の陳情をしました。今後も、県、関係市町村、保護者で検討し改善に努めます。

## その後

安曇養護学校では、平成22年4月からスクールバスを1台増車し、北部方面は、小谷村まで運行する計画です。

# 私の思い出



八方 平林 孝三

私は、あのあんずの里千曲市の生まれでもう八十五歳になり十八歳の時海軍航空隊整備兵として志願入隊二年半で終戦復員家は青果商だったので、兄弟で老父の後を引き受けて信州りんごを東京の市場に出荷していました。

ある時、神城、北城地方は果物が出来ない事を知り越冬野菜を小型三輪車で弟と共に十二月初旬だったと思います。車のチェーンも用意せずあの青具峠を小雪のチラつくなかやっと上りきり、堀ノ内の知

人の家にたどり着き一泊させて頂き、朝になったらびっくり五十cmほどの一面銀世界。当時は、除雪車もあまりなく国道のみだったようです。幸い堀ノ内に馬ソリで営業している人が居り、品物は処分してから国道まで三輪車を搬出して頂いた思い出があります。

あれから六十年私達は同じ村で生まれ昭和二十三年三月結婚、苦楽を共にして五十五年前から白馬に住む事になり、有難いことに親戚以上に協力お世話して下さいました。あるからこそ片時も忘れる事はないです。



## ■議会だより第90号のお詫びと訂正

5ページ1段 3番目の答

ダイオキシン対策は平成21年に行ったのではなく、平成12年です。深くお詫びをして訂正いたします。